

平成22年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成23年 3月 1日(金) 北海道防衛局 4F 共用会議室		
委員	阿座上委員長(地域経済研究所理事長) 神谷委員(北海道教育委員会委員長) 齋藤委員(弁護士) 杉下委員(公認会計士・税理士)		
審議対象期間	平成22年11月 1日 ~ 平成23年 1月31日		
審議対象件数	24件		
1 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	総件数10件	(審議概要)	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0件	・局担当者から契約状況、指名停止、低入札状況の説明 ・対象件数より抽出した10件の概要について局担当者が説明、委員による審議
	一般競争(政府調達協定対象外)	5件	
	公募型指名競争	0件	
	指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	5件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【指名停止状況説明】 ・特になし。 【低入札状況説明】 ・特になし 【抽出案件】 ○建設工事等(北海道局) 一般競争入札方式(政府調達協定対象外) a [真駒内宿舎排水管改修工事] ・1者応募の考えられる理由として、「入居者が居宅したままの状況で、時間等の調整・制約等があることから、敬遠されたのではないかとあるが、通常の宿舎改修工事ではどうか。	・通常の宿舎全面改修工事では、一旦、入居者を退出させ、改修工事が終了してから、再度、入居している場合が多く、この場合の入札での参加応募者は多数いる。 当該工事については、トイレの排水管改修工事を入居したまま実施する工事である。 従って、現場工程等業者の計画どおりに実施できない等の不	

	<p>・業者が「おいしい工事」とか「まずい工事」というが、まずい工事とは、やりづらく、利益もあまり上がらない工事のことであるが、現在の状況では、業者もそんな余裕はないのではないかと思うが。</p> <p>b [丘珠(22)外柵整備工事]</p> <p>・入札参加者が3者であるが、2者の入札価格が5万円の僅差となっているが、違いは何か。</p> <p>c [八雲(22)構内線路整備工事]</p> <p>・この工事では、管路工事のほかにケーブルも敷設するのか。</p> <p>・入札参加者間において、入札価格にかなりの差があるが、考えられる理由は何か。</p> <p>・1者辞退しており、理由が監理技術者を配置できなくなったとのことであるが、監理技術者は何名配置するのか。</p>	<p>利があり敬遠されたものと考え る。</p> <p>・最近、建設工事の発注数も少ない状況であるが、特に下位ランクの業者は、昔のように技術者を、何人も抱えることができず、受注時期等のタイミングも要因のひとつと考える。</p> <p>・内訳書を確認したが、積算内訳金額はそれぞれ違ったが、工事費合計では、あまり差がなかったものである。</p> <p>・本件工事は、管路の敷設のみであり、ケーブルについては将来、部隊側で敷設することになっている。</p> <p>・本件工事における積算の要素としては、大きくは管路工事、マンホール設置工事、管路等の土工事である。管路等の資材については、物価誌等に掲載されていることもあり、業者間において大きな価格差は生じないと思われる。</p> <p>一方、土工事については、通常は下請けを採用するため、下請け業者から、見積もりを徴するものであるが、その見積金額に差が生じ、それが入札参加者間の価格差につながったものと考えられる。</p> <p>・配置する監理技術者は1名である。</p> <p>入札応募の際に、配置予定技術者を登録することとなっているが、他の工事にも重複登録が可能である。</p> <p>ただし、他の工事を受注したことにより、配置予定技術者として登録した当該技術者を、当該工事に配置できなくなった場合には、入札に参加してはならないこととなっている。</p>
--	--	--

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>○建設コンサルタント業務等 (北海道局) 一般競争入札方式</p> <p>d [早来(22)燃料施設整備建築設計(その2)]</p> <p>・この次の事案も、入札日が同じで、工期も仕事の内容もほとんど変わらないことから、一緒に審議する。</p> <p>e [近文台(22)燃料施設整備建築設計(その2)]</p> <p>・(その2)ということは、(その1)があると思うが、業務内容の違いは何か。</p> <p>・入札の参加業者数は、早来が5者で、近文台が2者というのは、何か理由があるのか。</p> <p>f [稚内外(22)補給倉庫新設等土木設計]</p> <p>・落札率が52%とは、競争が激しく、低落札のスタイルができあがっている。 予定価格の算定は、従来どおりか。</p> <p>g [留萌外(22)通信設備等調査検討]</p> <p>・この業務は、一度不調に終わった業務とのことだが、考えられる理由は何か。</p> <p>・不調となって再度公告を行う場合、相手方への説明若しくは通知はどのようにするのか。</p>	<p>・(その1)は主に既設建物の解体設計を中心に発注したもので、(その2)は新設する建物等の設計である。</p> <p>・理由は特にわからないが、早来町は札幌の近郊で、地理的に近いということぐらいである。</p> <p>・算定は従来どおりである。 落札価格が低くなったのは、冬場に向かって仕事量が減ったこともあると思われる。</p> <p>・当該業務が不調となった要因は、多地区かつ多棟数になることから、金額が折り合わなかったものと推定される。</p> <p>・不調となった場合は、不調の通知をする。 その後、業務内容の見直しを行った上で、新たに入札公告を行い、入札手続きを執ることとなる。</p>

意見・質問	回答
<p>・電子入札だから、相手方は前回どこが参加したのかわからないものか。</p> <p>・今回の入札で、1回目で予定価格に達しなくて、2回目入札に移行する場合、相手方どのように通知するのか。また、2回目を同日に行うのか。</p> <p>・入札参加業者は、一度不調になった事案ということは分かるのか。</p> <p>○建設工事等(帯広支局) 一般競争入札方式(政府調達協定対象外)</p> <p>a [帯広(22)庁舎新設発電機設備工事]</p> <p>・入札回数が3回であるが、理由は何か。</p> <p>・発電機本体のメーカーは限られているのか。</p> <p>・2社とも同じようなメーカーから調達するという事か。</p>	<p>・どこが参加したかは、わからないはずである。</p> <p>・2回目に移行する場合は、1回目の最低入札金額及び当該価格は、予定価格を超過している旨を、電子入札システムにより各社に通知する。 また、最低入札金額と予定価格との開差が大きい場合には、補足説明を行う場合もあり、開差によっては2回目入札を、翌日以降に行う場合もある。</p> <p>・業務内容を見直して、改めて公告を行っているが、件名等から一度不調になった事案であることは、おそらく分かっていると思われる。</p> <p>・通常、入札回数は原則2回としているが、2回目入札の最低入札金額から、落札の見込みがあると思われたので、3回目入札を行ったものである。</p> <p>・限られている。</p> <p>・1社は工事会社で、発電機メーカーから発電機を調達し、据付工事を行うこととなると思われるが、同一メーカーの発電機かどうかは分からない。 もう1社は発電機製造メーカーなので、自社製品を据付けることとなる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>b [帯広(22) 構内舗装等整備工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工体制確認型の総合評価方式は、最低価格の業者が落札するのではなく、調査基準価格を上回り、且つ評価点の高い業者が有利となり落札するのか。 ・市場経済競争の原理からいえば、これが最善の方法だとも思われないが、今後の推移を見守りたい。 <p>○建設コンサルタント業務等 (帯広支局) 一般競争入札方式</p> <p>c [帯広外(22) 宿舎解体等土木設計]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・この入札方式は、ダンピング防止及び品質確保のための制度であり、調査基準価格を下回った場合、施工体制確認型における評価点の取得が厳しく、結果として落札することは非常に難しい。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>[意見の具申等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<p>[回答]</p>

2 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
談合疑義件数		－件	(審議概要) ・該当案件なし
工事	談合情報	－件	
	点検結果疑義	－件	
業務	談合情報	－件	
	点検結果疑義	－件	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		[意見の具申等] ・特になし	[回答]
3 入札結果の事後的統計について			
審議概要		・順位傾向、落札率、応札率、低落札について説明	
		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問		[順位傾向] ・特になし。	
○それに対する回答等		[落札率・応札率] ・特になし。	
		[低落札] ・特になし。	